

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（11 月）

令和 7 年 11 月 17 日
青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稻

（1）生育観測ほ収量調査結果 ※（）内は平年比

「まっしぐら」（管内 8 地点平均）は、㎡あたり粳数が平年より多く（107）、玄米千粒重は平年並みだった（102）ため、収量は平年より多かった（110）。

「はれわたり」（管内 4 地点平均）は、㎡あたり粳数は前年より少なく（97）、玄米千粒重は前年並みだった（102）ため、収量は前年より少なかった（92）。

表 1 収量調査データ

品種	調査地点		㎡あたり 穂数	㎡あたり 粳数	全重 (kg/10a)	わら重 (kg/10a)	精粳重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	屑米重 (kg/10a)	玄米千粒重 (g)
まっしぐら	八戸市 市川	本年	402.1	32.950	1,794	773	941	711	57	22.6
		平年	408.1	33.123	1,779	869	870	623	56	22.4
	五戸町 根前	本年	405.4	36.001	1,483	671	731	541	34	24.2
		平年	389.7	34.082	1,657	757	855	643	38	23.0
	管内8地点平均	本年	406.2	34.706	1,654	698	876	657	47	23.4
		平年	386.9	32.485	1,601	761	801	595	39	22.9
品種	調査地点		㎡あたり 穂数	㎡あたり 粳数	全重 (kg/10a)	わら重 (kg/10a)	精粳重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	屑米重 (kg/10a)	玄米千粒重 (g)
はれわたり	八戸市 島守	本年	332.8	29.539	1,421	736	645	498	27	23.3
		前年	372.3	30.492	1,321	586	707	539	16	23.0
	南部町 苦米地	本年	313.5	23.904	1,558	748	740	573	55	23.2
		前年	404.8	38.011	1,632	736	855	627	39	23.1
	管内4地点平均	本年	356.9	28.606	1,480	687	750	587	31	23.5
		前年	411.7	35.209	1,520	641	851	637	32	23.0

（2）品質

八戸農協の 1 等米比率（10 月 31 日現在）は、まっしぐらが 85.1%、はれわたりが 98.0%であった。

主な落等要因はカメムシ被害による着色粒、充実度だった。

2 大豆

八戸市市川地区では、例年並みの 10 月 29 日から収穫作業が始まり、10 日程度で終了予定だが、11 月 1 日の降雨により収穫期間が長引く見込み。五戸町倉石中市地区では 11 月 10 日から収穫開始予定だが、ほ場の乾燥状況により 1 週間程度遅くする可能性がある。収量については、現在調査中である。

Ⅱ 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

ア 生育観測ほ

本年の収穫は、11月14日以降を予定している。10月10日調査同様、平年より細長い形状と考えられる。

イ 一般ほ場

成いも収穫前の茎葉の片付け作業や種いもの収穫作業が始まっている。

(2) 今後の対策等

いもに障害が認められるほ場や排水不良のほ場では、いもの腐敗を防ぐため、年内収穫に努める。

2 にんにく

(1) 生育の状況

植付け作業は、早まった稲刈りと作業が競合したことと、9月第4半旬及び第6半旬のまとまった降雨の影響により、平年より遅くなった。

始め(5%)が平年より5日遅い10月3日で、最盛期(50%)は平年より5日遅い10月12日、終わり(95%)が平年より9日遅い10月25日であった。

植付けを10月12日頃までに行ったほ場では萌芽が確認されているが、萌芽がばらつくほ場が散見される。萌芽後は、順次芽出し作業が行われている。植付けが10月半ば以降のほ場では、気温の低下に伴い萌芽が遅れるものと予想される。

生育観測ほの状況は、植付日が平年より1～8日遅く、地上部の生育は、管内4カ所平均値で、草丈13.7cm(平年比82%)、生葉数2.4枚(平年比86%)となっており、平年を大幅に下回った。病虫害の発生はみられない。

一般ほ場では、さび病やネキリムシによる被害がみられている。

表2 にんにく生育観測ほ生育調査結果（11月10日現在）

調査地点	年次	品種系統	植付日 (月日)	マルチ	草丈 (cm)	生葉数 (枚)
五戸 (桜沢)	本年	白玉王	10/7	グリーン	19.6	2.8
	平年		9/29		15.4	2.7
	前年	白玉王	10/6	グリーン	29.9	3.7
倉石 (中市)	本年	在来種	10/7	グリーン	11.4	2.0
	平年		10/1		19.5	3.3
	前年	在来種	10/2	グリーン	20.7	3.7
新郷 (扇ノ沢)	本年	在来種	10/4	グリーン無穴	14.9	3.2
	平年		10/3		15.7	2.5
	前年	在来種	10/3	グリーン無穴	21.5	3.2
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	10/5	黒	8.7	1.6
	平年		9/30		16.2	2.8
	前年	白玉王	9/28	グリーン	25.0	3.5
4か所平均	本年				13.7	2.4
	平年				16.7	2.8
	前年				24.3	3.5

注1) 平年値について

五戸は、R7から調査地点変更

五戸：H28年～R7年までの過去10年間の平均値(参考値)

旧倉石：H28年～R7年までの過去10年間の平均値

新郷：H28年～R7年までの過去10年間の平均値

田子：H28年～R7年までの過去10年間の平均値(黒マルチのR2を除く)

表3 病害等発生率調査結果

場所	さび病	欠株※	二本立ち
五戸	0%	1%	0%
倉石	0%	2%	1%
新郷	0%	0%	0%
田子	0%	13%	2%

※ 未萌芽含む

(2) 今後の対策等

ア 降雪前に芽出し作業を行う。

イ 越冬後のほ場の排水を促すため、明きょ設置など排水対策を行う。

ウ 種苗増殖ほでは、アブラムシ類の防除を行う。

3 いちご

(1) 生育の状況

ア とちおとめ

生育は草高を除いて平年を上回っている。チップバーンが若干目立つものの概ね順調である。頂果が着色し始め、収穫開始間近と考えられる。

コナジラミ類の発生が僅かに認められている。

イ よつぼし

生育は小葉長・小葉幅は平年並～下回り、草高、葉柄長及びクラウン径は上回っている。生育ステージは開花～果実肥大初期となっている。

コナジラミ類の発生が僅かに認められている。

表4 いちご生育観測ほの生育調査結果（11月11日現在）（八戸市市川町）

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)	クラウン径 (mm)
とちおとめ	本年 (平年比)	8月26日 (1日遅い)	23.3 (92%)	16.8 (105%)	12.3 (115%)	10.3 (114%)	24.4 (139%)
	平年	8月25日	25.2	16.0	10.7	9.0	17.6
	前年	9月3日	15.9	9.8	9.1	7.6	19.6
よつぼし	本年 (平年比)	9月16日 (1日早い)	22.0 (125%)	14.8 (131%)	9.8 (100%)	7.4 (93%)	20.6 (118%)
	平年	9月17日	17.6	11.3	9.8	8.0	17.5
	前年	9月25日	12.0	7.1	8.3	6.8	15.3

注) 平年は、とちおとめが前10か年、よつぼしが前6か年の平均値。

(2) 今後の対策等

ア 適正な温度管理の実施

イ うどんこ病などの病虫害防除の徹底